


文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel (0776-82-1141) Fax (0776-82-2261)

【斉藤新緑事務所】〒913-0001 福井県坂井市三国町池上103-36

【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp

【ホームページ】http://www.ss.apdw.jp

ほっとらん

人に、まちに、いま、 元気の種をまこう。

VOL. 99

2020年、女性の半数が50歳を超える。
2024年、国民の3人に1人以上が65歳以上になる。
2033年、3戸に1戸が空き家になる。
2040年、自治体の半数が消失する――

▼人口減少ニッポンの「不都合な真実」

「地方創生はまず少子高齢化に歯止めをかけて、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服して、将来にわたって成長力を確保することを目指しております」
地方創生担当をはじめ、「少子高齢化に歯止めをかける」と口にする国会議員、地方議員は数知れない。

縮小する時代の中長期構想

だが、残念なことに、「少子化」は止まりようがない。
今後の日本社会は、子育て支援策が成果を挙げ、合計特殊出生率（1人の女性が生涯に出産する子供の数の推定値）が多少改善したところで、出生数が増加することにはならない。

「高齢化」に至っては、すでにこの世に存在する人が歳を重ねる結果起きるのだから、これに「歯止めをかける」などという事はできない。
数年後には、東京を含めた全ての自治体で人口が減る。

目的にある人手不足は、機械化や移民による穴埋めで幾分かは

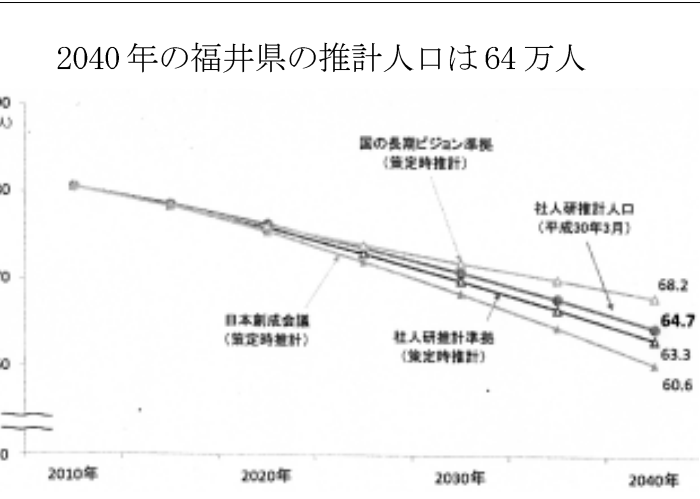
対応できるかもしれない。だが、日本の労働力人口は今後十数年で一〇〇〇万人近くも少なくなると見込まれる。
そのすべてを機械や外国人に置き換えることにはとうてい無理がある。

未だ、高度経済成長時代の箱モノ行政をやっている自治体は

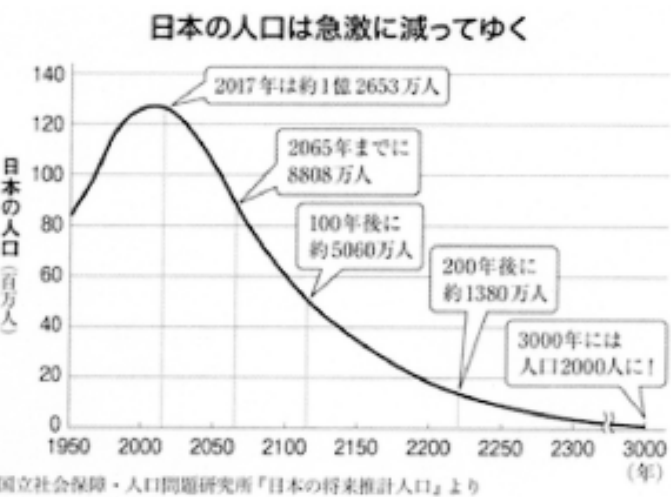
論外としても、少子・高齢化人口減少社会に対する認識不足や誤解による議論が重ねられ、ト

ンチンカンな対策が生み出されている。

▼出生数の減少も人口の減少も避けられないとすれば、それ



2040年の福井県の推計人口は64万人



日本の人口は急激に減ってゆく

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」より

ホテル」が北陸初進出といった明るい話題はあるが、新幹線が走ろうが高速度道路が開通されようが、少子・高齢化、人口減少は加速度的に進む。
20年後の福井県の人口は、今より14万人減少して64万人となる。14万人減とは坂井市、あわら市、勝山市が消えるだけの減少ということだ。

人口減少にまつわる日々の変化というのは、極めてわずかであり、「昨日と今日の変化を指摘しろ」と言われても答えに窮する。影響を感じにくいのがゆえに人々を無関心にもする。

だが、これこそがこの問題の真の難しさなのだ。ゆつくりとではあるが、真綿で首を絞められるように、確実に日本国民一人ひとりの暮らしが蝕まれてゆく――。長期的な視点でものを考えなければ対応できない。

「倒産した自治体」などという失礼だが、北海道夕張市は、炭鉱が閉山し、一気に町が縮んだ。そこで「炭鉱がダメなら観光へ」と、行政主導で観光事業を展開し、絶賛されたが、結局、大赤字で、国の指導管理下におかれる行政運営となった。

参考にするべき貴重な事例と思うが、将来どうなるのか、二〇四〇年から現在を見つめ（バックキャスト）、逆算して、今から何をすべきか、縮んでも幸福に暮らせるように、用意周到な準備が必要だ。

▼二〇四〇年を展望した福井県長期ビジョン

杉本知事は、西川前知事が四期十六年続けてきたマニフェスト（政権公約）政治から「転換」すると強調し、二〇四〇年まで、おおむね二十年間を計画期間とする「福井県長期ビジョン」づくりに着手している。

「新幹線の開業、中部縦貫自動車道の開通など福井県に人が集まってくる大交流時代の幕開け、ビッグチャンス生まれる。」
米国ホテル大手の「マリオット

が、残念なことに、「少子化」は止まりようがない。

「母にわびる」

奈良県立養護学校 土谷 康文

ごめんなさいね おかあさん
 ごめんなさいね おかあさん
 ぼくが生まれて ごめんなさい
 ぼくを背負う かあさんの
 細いうなじに ぼくはいう
 ぼくさえ 生まれなかつたら
 かあさんの しらがもなかつたらうね

大きくなった このぼくを
 背負って歩く 悲しさも
 「かたわな子だね」とふりかえる
 つめたい視線に 泣くことも
 ぼくさえ 生まれなかつたら

ありがとう おかあさん
 ありがとう おかあさん
 おかあさんが いるかぎり
 ぼくは生きていくのです
 脳性マヒを 生きていく
 やさしさこそが 大切に
 悲しさこそが 美しい
 そんな 人の生き方を
 教えてくれた おかあさん
 おかあさん
 あなたがそこに いるかぎり

高校入試 英検加点制度廃止

▼西川前知事は4年間の短期マニフェスト(選挙公約)を掲げ、当選するとそれが県民から承認されたとして、具体化してきました。

それに対し、私は、中長期的な構想を描き、実行計画を作るべきで、選挙公約がそのまま一方的に政策とされ、実行する行政運営を批判してきました。

第2恐竜博物館建設、高校入試における英検の導入など、議会の争点となったものは、すべて、マニフェストに書かれてあったことを根拠に、提案されたものでした。

杉本知事は、西川前知事が四期十六年続けてきたマニフェスト(政権公約)政治から「転換」と強調し、二〇四〇年までの、おおむね二十年間を計画期間とする「福井県長期ビジョン」を策定しています。

第2恐竜博物館建設計画は撤回し、増改築による機能強化することにしました。また、高校入試に英検を導入し、3級以上に加点する制度も来年度より廃止することになりました。

私たちがこれまで、主張し、求めてきたものです。

▼平成29年、県議会は、英検取得者への加点に関する「県立高校入学者選抜制度の見直しを求める意見書」および本県の公教育のあり方に関する

「福井県の教育行政の根本的見直しを求める意見書」を議決し、県民の代表として教育現場の声を行政に反映させるべく提言を行ってきました。

当時は、知事マニフェストに記載された「小中学生の『学力・体力日本一』堅持」等が至上命令のごとく教育現場への圧力となり、教員・生徒双方のストレスが高じて様々な事態を引き起こすという「教育行政と現場との乖離」が大きく問題視されていました。

杉本知事が誕生し、豊北教育長が就任、今年度中には新たな教育大綱が策定されることになりました。

前知事時代の教育行政の課題や県議会の総意としての意見書の趣旨を再度認識し、本県が率先して新たな教育の方向性を示すような内容の要請をしました。

教育の方針について
 教師の働き方改革について
 人の確保について
 全国学力調査中心から子ども学び中心に変えていくこと

現場負担を軽減するために見直すべき課題
 ・その他、施策の見直し

▼英検加点制度から見えた福井県教育の硬直化と閉塞感

総務教育常任委員会の場で、一人の議員が、高校入試に英検を導入することについて、発言があり、私は委員長という立場で、そのやり取りを聞いていました。

(なぜ、今さら、私が常任委員長になつていたのかといえ、当時、第2恐竜博物館建設をめぐる攻防が激化していたので、経験の少ない若手から対応できないと悲鳴が上が、やむなく、執行部四役が四つの常任委員会の委員長を務めることになったのです)

民間の検定試験である「英検」の1級合格者に15点、2級合格者に10点、3級合格者には5点を加算し、英語だけは115点満点にし、五教科で515点満点とする。

中学校で習うのは、3級程度で、1級2級は高校以上で学ぶもので、中学校で習わないものを高校入試の対象にするのはおかしい。塾へ通って習えというのか。

英語だけ115点満点とするなど英語教育偏重ではないか。

県教育委員会は教育長会議や校長会に提案したが反対はなかったというが、議論を聞いていて、どうもこれはおかしい。本当に、こんな制度を教員や保護者は納得しているのか、そう思ったので、委員長として、議員各位の地元の保護者や教員の聞き取り調査をすることを求めました。

その結果、賛成者はゼロとあってよい状況でした。

それを、常任委員会で報告すると、教育委員会は全学校に問い合わせたが、反対する学校は一つもなかったという真逆の結果報告を行ってきました。

高校入試制度は、県議会に提案される議案ではないため、教育委員会が独断でやれるわけですが、県議会として見直しを求める意見書を可決し、知事宛に提出しました。

その結果、115点は撤回し、100点の中で、評価するものとなりました。

私も同級生の教員退職者に聞きましたが、教育現場は、福井県独自の教育として白川文字学、美術に日本画、音楽に雅楽、教育日本一を目指し、学力調査の成果を上げるため、わざわざ事前に過去問題集をやるなど、クラブ活動なども含めれば全く生徒に向き合う時間が持てないなど教育現場の惨状を聞かされました。

前知事が英語教育に熱心ということから、教育委員会が

付度し、手取り早いのは高校入試に英検を導入することとしました。それに対し、市町教育長会も校長会も教職員組合も誰も反対しませんでした。

私立校ならともかく、公立校にこのような制度を導入することは、素人目から見ても異常としか言いようがなく、ある面で、学校教育を放棄しているような印象すら与えます。

私たちが聞き取り調査した結果は、「一〇〇人いたら一〇〇人反対」という内容が、教育委員会が学校に聞けば、反対はゼロとなります。

教育委員会の提案に反対できない組織。硬直した閉塞的な組織だと痛感しました。

「勇気を持って」と生徒ではなく、先生には言わないけれどもならないのかと思いましたが、恥ずべき事ではないでしょうか。

教育のために、教員は堂々と主張し、戦うべきです。

その後、「池田中の生徒が自殺する」といった問題が生じました。

原因は、いくつも考えられますが、池田中は「学力日本一の福井県」の中で、「学力福井県一」の学校です。

今日、発達障害児の増加、幼児化する大人、メディア、

ネット、貧困など様々な絡み合う社会が学校を困らせています。

学力調査で点数を取ることが学力日本一の指標であり、そのため、せつせと過去の問題集をやらせ、受験勉強させるようなことをやるなら、そんな看板は、さっさと捨てるべきだと思います。

一人で本を読み、勉強すること、考えることが楽しいと思えるように、子供を育てることにこそ集中すべきだと思います。生涯、勉強し続ける人づくりをめざすべきです。

再発防止の意味を込め、先生が一人ひとりの生徒に向き合う時間を確保できるように、「福井県の教育行政の根本的見直しを求める意見書」を議決し、知事に要請しました。

立て続けに、教育に関する意見書を議決し、自らの県の知事に提出することなど全国でも例のないことでしょうか。

しかし、これも、たまたま私が教育常任委員会の委員長だったから、できたことではなかったかと思えます。(県側に不都合なことを議会にさせないよう根回しが入るからです。)

私が、委員会で「英検」の話など耳にしななければ、みんな唯々諾々と従い、今頃、英検取得に血眼を上げていたのでしょうか。

末広君 四年 ○畑○広

先生は いかんよ

先生は 末広君に

体育「2」に つけたやろ

末広君は ぼくより体育うまいんや

走りも

と、(び)こも

さかあがりも

マットも

ぼくより ずっと うまいよ

ドッジボール かも

ぼくより かるくうける

ぼくより 早いボールで遠くへほうる

それに 先生は末広君に「2」をつけた

ぼくは「3」や

末広君より どれもへたやのに

先生 末広君のどこが悪いんや

体育のぎょうぎがわるいのか

白ぼうをもつてこないからか

だって ぼくも

ならんでいる時 よくしゃべる

トレパン わすれる時もある

先生 どうみても

末広君 体育「2」ておかしいよ

通知票 もらう時

体育のとこみて

「2」のハンコのとこみて

末広君 じつと うつむいとつたよ

末広君 通知票わきにかかえて

しよぼんと かえりよつたよ

先生

なあ こんどは

体育「4」か「5」にしたりなよ

末広君は 体育うまいんや

自信もつとるんや

末広君は ぼくより

ずっと 体育 うまいんや



ある詩に出会いました。それは、ドロシー・ロー・ノルトというアメリカの家庭教育学者の作った「子ども」という詩で、スウェーデンの中学校の社会科の教科書に収録されております。

「批判ばかりされた 子どもは非難することを おぼえる 殴られて大きくなった 子どもは力にたよることを おぼえる 笑いのにされた 子どもはものを言わずにいることを おぼえる

皮肉にさらされた 子どもは鈍い良心の もちぬしとなる

しかし、激励を受けた子どもは自信をおぼえる

寛容にであった 子どもは 忍耐を おぼえる

賞賛を受けた 子どもは 評価することを おぼえる

フェアプレーを経験した 子どもは 公正を おぼえる

友情を知る 子どもは 親切をおぼえる

安心を経験した 子どもは 信頼を おぼえる

愛がられ 抱きしめられた 子どもは 世界中の愛情を感じることをおぼえる

これがかっかけて、この本が一躍注目されました。

しかし、この教科書の本当のすはらしさはこの詩だけにあるのではありません。社会を作り上げていく主権者としてどう生きていくかということ、スウェーデンの社会が抱える実際の問題を示した上で、問題解決をしていく方向性を自ら考えていくように作られているところ

です。一九九四年のスウェーデン文部省「学習指導要領の概要」には、学校の任務は「生徒に、将来を築くという困難な事業への楽観的な展望を与えること」とあるそうです。スウェーデンという国の教育に対する姿勢がよく現れています。

教科書も、法律と犯罪、人間関係、経済、自治体、社会保障というテーマを取り上げ、「あなた(子ども)も一人ひとり」に呼びかける形になっています。

「あなたはどのように社会参加するか」「あなたは政治や社会制度をどのように利用するか」というように、子どもたちが

が将来どうやってそれに立ち向かっていけばいいのかを共に考えていくようになっていきます。

テーマに沿った課題が提示され、子どもたちはクラスの中で話し合い、自分の意見を発表していきます。

いじめの問題についても、権威的グループ、民主的グループを例示し、そこから課題をいくつか設定して話し合いながら意見を出し合い、深めていく構成になっています。

楽しい学校を創ろう



第2恐竜博物館建設計画を撤回

増改築、リニューアルして機能強化

第2恐竜博物館は、西川前知事がマニフェストに記載されたもので、懸案事項の一つでした。

第2恐竜博物館の整備をめぐるのは、15年3月策定の県観光新戦略に「第2恐竜博物館の整備も視野に入れる」との計画が示された後、16、17年度の県予算案に整備検討費が各900万円ずつ盛り込まれました。

しかし、建設を前提とした予算を認めるわけにはいかず、県議会は、予算を凍結しました。そして、17年12月の予算決算特別委員会で、西川前知事が「ゼロベースで検討し、整備の必要性、運営方法は議会と協議する」としたこと、調査検討費として、条件付で予算凍結を解除しました。



エントランス入り口西側に増築することを決定

何が問題だったのかといえ、繰り返しになりますが、現在の現在の恐竜博物館の運営についての総括がないまま、新幹線が来る、観光客が増えてきたので、もう一つ第2をつくるということが、安直に提案されてきたからです。

多くの観光客が来場して、一般的に利益を上げていると思われるのですが、現在の恐竜博物館に投資した莫大な予算を回収するどころか、毎年、多額の県費を補填しなければならぬ赤字状況にあること。来館者数もゴールデンウィークや夏休みなどに集中していること。観光消費額をはじめとする地元経済波及効果が見えないこと。交通渋滞、広域観光周遊など様々

な課題があるにも関わらず、課題解決に向けた議論をせず、「新幹線開業までに、目玉商品として、「建設ありき」を前提として一方的に計画が進められることに問題がありました。

もとより、恐竜博物館が二つも必要なのか、なぜ、勝山なのか、福井県の代名詞ともいえるべき東尋坊にこそもっと投資をすべきではないかなど投資する質や場所、効果などの根本的な議論が不足していました。

こうした問題を引きずって、杉本県政がスタートしたわけですが、即座に第2恐竜博物館建設計画を撤回し、既存施設の老朽化もあるので増改築し、リニューアルして機能強化をしていく方針が示されました。

新たなコンセプトは「オールシーズン体験可能な博物館にフルモデルチェンジ」。

「博物館の生命線」という収蔵庫は、一千平方メートルの増築が必要になる。増築部分の屋内に化石発掘スペースを追加したり、実物サイズの恐竜映像を流したりすることなどを検討する。屋内での体験機能などを加えて

1日2万人入館可能

繁忙期と閑散期の差を縮め、入館者目標は従来の年間四百四十万人を維持する。

県は市と連携し、混雑・渋滞解消策も探る。整理券方式の導入やバスに乗り換え輸送する「パーク・アンド・バスライド」などを実施する。

県の実質負担を69億円に圧縮

計画は収蔵庫（二千平方メートル）をはじめ、ダイナミックな企画展などを開催する特別展示室（一千平方メートル）、化石発掘の体験スペース（四〇〇平方メートル）、イベントホール（八〇〇平方メートル）など計五七〇〇平方メートルを増築する。また、従来のショップ・レストランやシアターなど計一五八〇平方メートルを改築する。

事業費は、増改築費（設計費を含む）の65億円のほか、土地造成費やトイレ増設などの環境改善費、老朽化対応の大規模修繕費など工期の短縮をめざしています。

2 恐竜博物館の機能強化に向けた施設整備内容

(1) 規模

機能	概要	面積	整備費
最低限必要な機能			
収蔵庫	・30年間の恐竜化石発掘調査により、9割以上が埋まっている状況 ・今後の調査研究に対応するための増設。一部スケルトン化を検討	1,000㎡	11億円
ショップ	・混雑の緩和を図り、増加する来館者に対応するため拡充	(700㎡)	6億円
レストラン			
特別展示室	・ダイナミックな企画展等の開催可能な面積・天井高を確保	1,000㎡	11億円
(多目的ホール)	・高さ30mの大型映像の導入（実物大・大迫力の恐竜世界を再現体験）		
エントランス改修	・混雑を解消するため拡充 ・団体や個人入館入口の設置、来館者の動線・目録対策	(250㎡)	2億円
多言語化	・案内や解説、音声ガイドの多言語化対応 ・シアター映像への多言語対応設備の導入等	—	1億円
改修に伴って必要となる機能			
恐竜研究体験	・化石発掘体験の遠征化（化石発掘が困難）やクッキー作り、レプリアン制作体験など恐竜博物館ならではの恐竜研究体験	400㎡	6億円
イベントホール	・恐竜ライブショーや企業による展示等 ・団体用・混雑時の休憩・待合スペース	800㎡	7億円
図書室	・これまで収集してきた貴重な図書資料を展示・管理	(280㎡)	2億円
キッズルーム	・恐竜絵本などにより、親子が楽しく恐竜を学ぶスペース		
シアター改修	・高解像・大画面で技術革新にも対応可能な映像設備を導入	(250㎡)	3億円
エントランス改修	・eチケット入場システムの導入 ・組合チケットのカウンターやバス見送りの設置	400㎡	5億円
共用部	通路、階段やトイレなど増築に伴い必要となるもの	1,400㎡	11億円
環境改善	トイレ増設、団体休憩スペース等の確保	700㎡	8億円
増改築面積	増築	5,700㎡	73億円
	改修	(1,580㎡)	

(2) 全体事業費

	前回試算	県職員検討結果
増改築費（設計費含む）	105億円	→ 65億円
環境改善費	0億円	→ 8億円
土地造成費	5億円	→ 6億円
大規模修繕費	15億円	→ 15億円
総事業費	125億円	→ 94億円

※これとは別に常設展示を更新する場合には、その内容、規模に応じた費用が必要

3 想定スケジュール

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画策定	基本・実施設計	入札手続	建築・展示工事	開館準備
	敷地造成			開館

孫への手紙 (15)

本当の話をしよう 3

みんな正月には揃って元気な顔を見せてくれてありがとう。

年末に、お転婆な結衣が高熱を出して、挙げ句に、「川崎病」だと診断されて入院。心配しました。

「川崎病」とは何か、事務所の川崎さんに聞いても知る由もなく聞けば、心臓などに後遺症が残るようなこともあるようですが、その心配もなく無事退院できて、もりもり食べれるようになって元気になって良かったです。

風咲はスイミングスクールに行くようになったと水着姿の写真が
お母さんから送られてきました。
なかなかカッコよく決まっています。
でも、顔を水につけるのが怖い
ようで、あとから入ってきた小さい
子に遅れをとっているようです。
ね。それでも元気に通っていると
聞きました。

えらいね。大丈夫。そのうち簡単に
できるようになります。「練習は
不可能を可能にする」という言葉、
覚えておいて下さい。

爺も最近、おなかポコポコリンの
狸さんのようになってきたので、
風咲に負けずに、昼休み、昼ごはんを
抜いて、泳ぎに行こうと

思っています。

顔をつけられるようになったら
今度、一緒にプールに行きましょう。
爺もそれまでには、肉體改造
に取り組んで、25m個人メドレー
ぐらいは平気で泳げるように
しておきます。

さて、今年、最初のお話は何か
らしましょうか。やはり、爺が
気になっていることからい
うと、テレビがやっていること
です。

テレビからは電磁波が出てい
るので、あまり近づかないよう
にすること。そして、部屋に入
ら、すぐにテレビのスイッチを
入れることをクセにせず、テレビ
をできるだけ見ないようにして、
静かなお部屋で本を読むクセを
つけて欲しいと思います。

なぜなら、テレビはみんなに
催眠術をかけて、みんなを操り
人形のように操るからです。だ
から、「テレビを見るとバカにな
る」と覚えてください。

▼テレビを見るほど馬鹿にな
る

アメリカの刑務所では、テレビ
番組を流し続けることによって囚
人を大人しくさせます。

テレビをずっと見ていると、前
頭葉という自発的に考える脳の部
位がドンドン退化して家畜のよう
になるのです。

日本では小泉政権が構造改革
（おカネ持ちだけを優遇する社会
計画）を開始して以降、長時間の
バラエティ番組やお笑い番組が編
成されていますが、これは視聴者
である国民の思考力を奪い、資本
家にとって都合のよい法律を作る
ための手段だと指摘されています。
このように国策として国民の
白痴化を進めることを「愚民化政
策」と言います。

▼テレビの番組欄をみると、大
半がワイドショー、ショッピン
グ、バラエティ、お笑い、ドラマ
など、どうでもいいものばかりで
す。

▼ニュース番組も冒頭の数分間だ
け政治や経済のことを話し、大半
の時間はプロ野球などスポーツ情
報で埋めてしまっています。
このようなマスメディアの意識

操作によって、本当に考えなくて
はならないことを考えず、芸能や
娯楽に没頭して馬鹿モノになっ
ていきます。

▼マスメディアは広告業者で
あつて報道機関ではない

新聞社もテレビ局も営利（おカ
ネ儲け）を目的とする企業です。
本業は報道ではなく広告ですか
ら、読者や視聴者よりもクライア
ント（広告を出してくれる団体）
を大事にします。またテレビ局は
総務省の管轄

にある「免許
事業」です。
公共電波を
実質タダで使
用させても
らっているこ
とから、その
お礼として官庁に言われるままの
ことを報道するので、
このように国民を騙す道具に成
り下がった報道がなされていま
す。



ニホンという滅び行く国に生まれた若い君たちへ

だから新聞テレビが伝える内閣
支持率や政党支持率など世論調査
を信用してはいけません。

新聞テレビは常に広告主である
大企業の要請を受け、お金持ちに
都合のよい者が政権を取れるよう
取り組むのです。

電話調査なども平日の昼間に
いる高齢者など、世の中のことに
疎い「情報弱者」を対象にしてい
るため信憑性がないのです。

▼バラエティのノリで恐ろしい
ことを隠そうとする

テレビ報道は問題を真剣に取り
上げるのではなく、バラエティ番
組のような軽いノリで解説し、本
当の大事なことをウヤムヤにし
てしまいます。

たとえばTPPに加盟すると貧
しい人が医療を受けられなくなる
危険性がありながら、「焼肉が安
く食べられます！」などと良い面
だけを楽しく伝えるのです。
また憲法改正によって戦争をす
る国になる

にもかかわ
らず、「お試
し改憲」な
どとテレビ
ショッピン
グのノリで
面白おかし
く伝えるのです。
このように視聴者を洗脳するた
めに娯楽番組化した報道番組が作
られています。

▼国民を脅して軍事費を引き上
げる
ワイドショーは北朝鮮が危険な
国だと騒ぎ立てます。しかし北朝
鮮の軍事予算は日本の5分の1以
下であり、アメリカの実に70分の
1にも満たないのです。
すなわち北朝鮮は日米同盟の圧
倒的な軍事力を前にしては全く取
るに足らない弱小国家なのです。

新聞テレビが防衛費などを増やす
ため国民を脅かすのです。

▼アメリカでは僅か10社程度の
資本（投資銀行や証券会社）がテ
レビ、ラジオ、映画、出版などの
企業を所有し、自分たちに都合の
よく事実を捻じ曲げて報道する仕
組みを作っています。
例えば9・11同時多発テロが
発生した際、アメリカ各地でイラ
ク戦争に反対する大きなデモが起
こりましたが、新聞テレビは「国
民の大半はイラク攻撃に賛成だ」と
嘘の情報を流したので、
このようにマスメディアが少数の人
達に独占されています。

▼アメリカ国務省にはBBG
（放送管理委員会）という部署が
あり、外交を宣伝によって支えて
います。BBGは相手国のテレビ
局などと交渉し、アメリカに都合
のよい法律がスムーズに成立する
ような番組作りを求めているので
す。今やどのチャンネルに合わせ
ても、下品なお笑い番組ばかりな
のですが、これは「相手国民の知性
破壊が最も有効である」という軍
事理論に基づいたのです。
そうやってアメリカの投資家は
ニホン人を低能にして、配当が何
倍にもなる法律を作らせたり、福
祉予算を削減させて自分たちの出
資する企業の補助金にしたりして
いるのです。
このように肉体ではなく精神の
破壊によって侵略するのも戦争で
す。

▼マスコミがどれだけ酷いこと
をしたか

各国の研究機関が小保方晴子さ
んの公開した手順に従い実験した
ところ、STAP細胞の再現に成
功しました。マスコミは小保方さ
んが捏造論文を発表したとして非
難しましたが、STAPの実在が
証明されたのです。

つまりSTAP細胞が医療に活
かされると製薬会社が損害を被
るため、新聞テレビは資本家に命
令されるままノーベル賞級の発見
を葬ったのです。

▼テレビ局が国民に知られては
ならないこと

報道機関が外国人に支配される
と大変なことになるので、テレビ
局の外国資本の上限は厳しく制限
されています。
ところがすでに民法キー局（系
列の中心となる（テレビ局）の外
資比率は、電波法に違反し20%を
超えているのです。

ですから二国間協議（日米で交
わされる貿易協定）によって、国
民健康保険が解体される可能性に
ついて触れず、良いことばかりあ
るかのように伝えるのは、アメリ
カの医療保険を売りたい外国人投
資家の命令なのだと考えるべきで
しょう。

▼政府を廃止する運動の高まり
国の役割とは国民を安全で健康な状態に保ち、経済を進展させ、教育や文化の振興に努めることです。しかし、今の世界で起こっていることは、巨大な資本が国の役割を取り払い、資本にとって都合のよい機関に変えていく運動なのです。

このように少数の権力者が地球上のお金と資源を独占しようとする流れを「グローバリゼーション」と言います。

▼企業が政府になる

東京、名古屋、大阪福岡などの都市が「経済特区」になり、これらで労働者を守ってきた法律が廃止される見込みとなりました。

つまり、「経済特区構想」とは日本全体を租界（中国を占領した国々が独自の法律を作り始めた都市）のように作り変えることなのです。

自国の政府ではなく、外国の企業や金融機関などに統治を委ねようとする考えなのです。

▼本当の経済の仕組みが語られない理由

景気をよくするには国民一人一人を豊かにしてモノを消費させなくてはなりません。それによって企業の売上げが伸びて設備投資（機械を買ったり、工場を建てたり

することが増え、社会全体におカネが行き渡るといふスパイラル（上昇の渦巻き）を作ればいいのです。

しかし新聞テレビに出ている学者はそのような経済の原理について触れません。

「国は外国人投資家の配当を増やすため、労働者の半分近くを派遣社員にした。そのために国民が貧乏になった。だから景気が良くならない」という本当のことを話すところをマスコミに使っても

このように立場や利害にとらわれ嘘やデタラメを話すことを「ポジショントーク」と言います。

▼日本人のお金が日本人を貧乏にする仕組み

日銀はお金の流通を増やすため年間80兆円の紙幣を余分に刷っています。しかし国が国民を貧乏にする政策を推進しているためモノが売れず、設備投資が起

きません。つまりお金の需要がないのです。そのため日銀が刷ったお金は外国に流れ、外国人投資家が株や企業を買ったりすることに使われます。日本国民を豊かにするためのお金が外国人のために使われているのです。

そして、そのお金によって日本の株もどんどん外国人に買い占められ、今や主要な企業の筆頭株主は外国の資本家なのです。

多くの人がトヨタやホンダ、ソニーや任天堂などの大企業が日本の会社だと思っています。しかしそれはニホンで生まれ育ったというだけのことです。今では大株主である外国の資本家によって経営されているのです。

▼アメリカと日本の関係を表す言葉

ニホンはアメリカの国債（アメリカ国民の税金を担保にして発行される借入金）を100兆円以上買っています。しかし、それを日本の国内で保管したり、処分してお金にすることは認められていません。

つまりお金を巻き上げられているのです。だから円が安い時にアメリカ国債を売れば利益が出せるのに、それが出来ず50兆円以上の損を抱えているのです。

▼巨大すぎる詐欺だからこそ見過ごされる

日本銀行は国の機関ではなく民間企業です。それなのに、原価20円の一万円紙幣を銀行などに貸し出し（売りつけ）て、莫大なお金を稼いでいるのです。

また日銀は400兆円の国債（国民が将来に納める税金を担保とした借入金）を所有しています。これも自分たちが刷った紙幣と引き換えに、ただ同然で手にした

ものなのです。このようにあまりにも手口が大胆すぎるため気づかれない心理的盲点を「スコトーマ」といいます。巨大すぎる詐欺だからこそ見過ごされる

▼消えた年金は誰の者になるのか

政府は国民が積み立てた年金を株で運用し、損失は30兆円を超えるとも指摘されています。

しかし、日本人が失ったお金はどこかに消えるのではなく、株を売り抜けた外国の投資会社の口座などに移し替えられるのです。

つまりアベノミクスとは外国人投資家が安く仕入れた株を、高く買い取っていただけのことだったのです。

政府が国民のお金を注ぎ込むことにより、価値のない株を価値のある株のように見せかけられているのです。

▼若者は自分たちが売られたという自覚がない

日本には人材派遣会社がアメリカの5倍もあり、今やその数はコンビニよりも多いのです。つまり日本は世界で最も「労働者の賃金をピンハネす

る会社」が多い国となり、そのため国民はドンドン貧しくなり、税収が落ち込み、経済そのものが縮小しているのです。これは当時の経済金融大臣が外国人投資家の依頼によって派遣法を改定したことによるものであり、彼らの配当金は今や3倍にも引き上げられているのです。投資家が政治家を都合よく使うのです。

▼食料の自給が止まる

新聞テレビが「自由貿易で経済が発展する」と煽っていますが、関税（自国の生産者を守るため、外国製品に税金を課す制度）をなくして、繁栄した国はひとつもありません。

二国間協議（日米間で交わされる貿易協定）が決定されると、アメリカ産の安い農産物や肉が入ってきます。アメリカは多額の補助金を自国の生産者に支給していますから、日本の農家は価格で対抗できないため廃業を余儀なくされます。

実際にアメリカと貿易協定を結んだメキシコなどでは、農民の約60%が失業し、国内で安い食料を作ることができなくなりました。このように自国の経済を進展させるため、他国の市場を侵略しようとする考え方を「帝国主義」と言います。

▼先進国ではなくなる
日本の一人当たりGDP（国内総生産）はドル計算で40%近くも減り、世界ランキングで20位まで後退しています。今や中国やシンガポールなどのほうがずっと豊かになり、この差はこれからもっと広がるのです。

▼先進国ではなくなる

日本は過去20年にわたり「小さな政府」（福祉や国民サービスを削り、そのお金を大企業の減税に充てること）に取り組んできたので、消費が減ってモノが売れなくなり、会社の99%を占める中小企業の経営が悪化し、国民の多くが貧乏になったのです。このような無能な政治によって経済の規模が小さくなることを「シュリンク」と言います。

都圏など防衛のための重要な土地が外国資本に買われているのです。このように自国の領土を切り売りして国を解体しようとする者たちがいるのに政治が動きません。

▼そもそも考える教育を受けていない

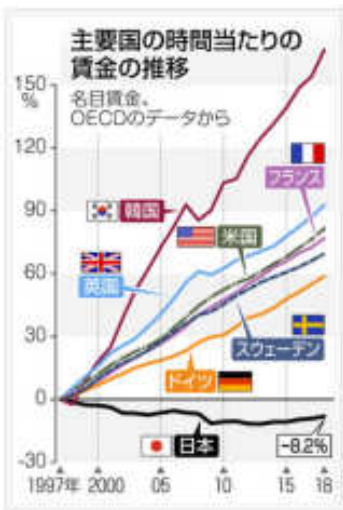
日本の学校は自分の頭で考えることを教えません。学校で行われることは、公務員が作ったカリキュラムであって教育ではないのです。

それは国とマスコミの言うことを信じさせるための教育要綱ですから、大人になっても分析的に判断することができないのです。小学校の6年間、中学校の3年間、高校の3年間、大学の4年間、そして30年以上にわたる社会生活においても、延々と洗脳（価値の刷り込み）は続きます。学校に代わって企業とマスコミが私たちに規範（どのように考え振る舞うべきか）を叩き込み、「作られる」のです。

▼スマホの普及によって読書の習慣が急速に消えました。しかし、スマホの情報をいくら見ても、読書で得られるような語彙力や集中力は身に付きません。今や大人も暇さえあればスマホをいじっていますから、理性（なにかを理解する能力）が子供とあまり変わらなくなりました。

▼日本は「領土」を売る世界でただ一つの国

どこの国でも国防のため外国人による土地の取得を制限しています。然し、日本ではその規制が非常にゆるいため、北海道や九州、沖縄や首



都圏など防衛のための重要な土地が外国資本に買われているのです。このように自国の領土を切り売りして国を解体しようとする者たちがいるのに政治が動きません。

ライブ

新緑の気ままにトクを開催します

毎月第4土曜日は



歴代首相の通算在職日数



安倍晋三首相の通算の在職日数が2019年11月20日で2887日となり、桂太郎氏を抜き単独で憲政史上最長となった。安倍氏の自民党総裁としての任期は21年9月末日まであり、任期いっぱいまで首相を務めると在任期間は3567日となる。

トップ4の安倍氏、桂氏、佐藤栄作氏、伊藤博文氏はいずれも現在の山口県出身。同県は江戸時代まで長州藩と呼ばれ、幕末の倒幕運動・明治維新の中心となり、明治

治新政府で活躍した多くの政治家を輩出した。

在任期間の長い首相の実績を見ると、外国勢の要求に譲歩しているケースが多く見られる。

相手国にとって、都合の良い人が長く総理大臣を続けられ、国民国家のために闘う、不都合な総理は短命に終わらされる。倒幕、明治維新こそ英米の手

の平で踊らされた日本破壊の序章ではなかったのか。

▼「近代戦は純然たる営利である」とクラウゼヴィッツは「戦争論」で述べています。つまり戦争は経済活動の一環

▼「近代戦は純然たる営利である」とクラウゼヴィッツは「戦争論」で述べています。

米国が建国以来かかわってきた戦闘を検証すれば、その度ごとに、金融、工業、エネルギーなどおおよそ全産業領域において莫大な利潤をもたらしてきたことは語るまでもありません。むしろ経済本質は絶対的に軍需そのものにあります

であり自己増殖を求める資本の循環運動に過ぎないという論理です。

この前提において偶発戦は存在しません。全ての紛争は経済合理を目的としたシナリオから発生する人為的現象であり、地球規模の壮大なヤラセと言えるわけです。

殺し、伝統社会を崩壊させる民(トランプ)であることは史例が証明しています。

▼「民衆はいつの時代でも愚かです。」

アに通底する内在的論理であり、あらゆる媒体の本質が統治ツールである一証と言えましょう。

流布される情報は常に知力の退行と思考の剥奪を目的としています。

▼「民衆はいつの時代でも愚かです。」

話を聞かされました。以前から、勉強会とか、政治塾とか「気ままにトーク」をやって欲しいとか声はあったのですが、地域の老人クラブに招かれて、一時間半程度「気ままにトーク」を年に何回かやる程度で、何もしてこなかったことを反省しています。

人集めせず、一人でも二人でも聴きたい人が勝手に集まる「新緑の気ままにトク・ライブ」ということで、毎月第4土曜日18時より、私の事務所ですタートしていきたいと思います。

ちょうど、今年で、町議会から通算すると、足掛け三十年の地方議員活動になり、「ほっとらいん」も次号で一〇〇号をむかえます。

▼マクロ的に考察するならば、現在には紛れもなく多国籍企業が世界を単一市場へフォーマット(初期化)する端境期にあります。

新聞を何十回読んでも、テレビを何万時間見ても、認知的枠組みは「物事を読み解く力」がなければ何もわかりません。それは地動説という知識がなければ、星や太陽が地球を周っているという錯覚するようなものです。

この間、何を学んだか、自慢できるものはありませんが、「議員たるべき者、一年の半分は本を読め」、読んでいないと成長が止まってしまうような気がして、自転車操作のような感じで本だけは読んできました。

TPPが提唱する自由貿易という言葉は美しく響きますが、その本質が社会的弱者を抹

▼先日、友人から「いつも後援会主催のゴルフコンペに出席するAさんは本当はゴルフがしたいのでなく、懇親会前に挨拶する新緑さんの話が聞きたくて来るんですよ。今回は、挨拶が短くて残念がっていました」とい

吸収したものを排出していく時期が来たようにも思います。退屈のぎにおいで下さい。出張ライブも行いますので、お気軽にお声掛けください。

朝のリレー

谷川俊太郎

カムチャッカの若者が
きりんの夢を見ているとき
メキシコの娘は
朝もやの中でバスを待つている
ニューヨークの少女が
ほほえみながら寝返りをうつとき
ローマの少年は
柱頭を染める朝陽にウインクする
この地球では
いつもどこかで朝がはじまっている
ぼくらは朝をリレーするのだ
経度から経度へと
そうしていわば交替で地球を守る
眠る前のひととき耳をすますと
どこか遠くで目覚時計のベルが鳴ってる
それはあなたの送った朝を
誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ

新緑の気ままにト〜ク

十有二春秋
逝者已如水
天地無始終
人生有生死
安得類古人
千載列青史

(この世に生まれて13年経った)
(死んだものは水のように戻ってこない)
(天と地には始まりも終わりもない)
(しかし人生には生死というものがある)
(なんとか過去の偉人に)
(列せられるようになりたいものだ)

頼山陽が13歳のときに作った詩だという。
「千載青史に列するを得ん」
私も過去の偉い人のように、社会に役立つ立派な人になりたいという気持ちが伝わってくる。

▼「わが愛する友よ、われわれが死ぬときには、われわれが生まれたときより、世の中を少しなりともよくして行くこうではないか」
有名な天文学者のハーシェルが20歳ばかりの時に、彼の友人に語ったという。
彼が、アフリカの喜望峰に行つて、南半球の星を図に示したこと、航海が開け、商業が開け、人類が進歩できた。

われわれが死ぬまでには、この世を少しなりともよくして死にたいではないか。
できるならばわれわれの生まれるときよりも、この日本を少しなりともよくして逝きたいではないか。

「世界一退屈な授業」(蘆菜収)などというタイトルからして、寝転ばって退屈のぎに読めばいいと高をくくっていると、「犬も歩けば

の、いづれか歌を詠まざりける」
(古今和歌集 紀貫之)
あらゆる生きものをさしている「生きとし生けるもの」という言葉は、他のいかなる言葉にもおきかえることはできない、そう思わせるだけの力と、ひびきをもっている言葉です。

ウルムチの宿所ではつとにするような日本語を聞きました。若い、中国人女性通訳です。
私にはたえて耳にすることのなかった楷書の日本語と聞えましたが、折り目正しい、丁寧過ぎもしいがむしろぞんざいでもない日本語、年長者と若輩、先生と生徒、親と子、夫と妻の間柄がはつきり自覚されていた時代の懐かしい国語でした。



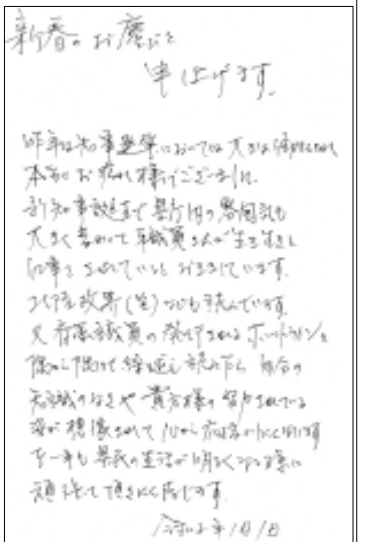
何が立派か、世の中を良くするとは何か、現代は師(手本)がいなくなった時代だといふ。
長く読み継がれた本に学ぼう。
そこで思い出すのは、山本有三著「心に太陽を持って」。

「一日に一度だけでもよい、言葉で生きる人間を意識する時間を持ちたい。教室だけが「国語の時間」ではない。日常の言葉遣いが社会生活の基盤となる。考え方、感じ方の土台となる。言葉の美しさ、楽しみのみならず、恐ろしさ、はかなさを知るとき、人間はより深みを帯びてくる。」
竹西寛子著「国語の時間」は、言葉と人間との豊かな関係を具体的な例を挙げながら感銘深く書き継いだ名随想。

▼「読む、書く、話す、聞く」というと最近では英語教育。

▼「花に鳴く鶯、水にすむかはづの声を聞けば、生きとし生けるも

高校入試に民間検定試験「英検」を導入して、英語だけ115点満点にするなどという県教委の方針があったが、私なら国語を115点満点にする。
植民地じゃあるまいし、小学校からの英語など必要ない。
単なる言葉の問題ではない。日本人としての価値観、立ち居振る舞いが確立しない間に、英米の価値観、悪魔主義に感化されるからだ。
母語(日本語)が壊れれば、日本が壊れる。



▼女性の美しい文字で書かれてある文を頂戴すると、それだけで恋心を抱いてしまい、そんな官能的な気分になります。
紛れもなく日本語、日本の文字、日本の文化です。
昔は、このような手紙のやり取りで、相手の容姿を想像したり、情緒、教養などを感じ取ったのでしよう。
支配者の特権であった読書が、大衆のものになって、人間が獣から人間になったといえます。
しかし、スマホやネットはそれを代理できないどころか、真逆に軽薄で無思考な人間を大量生産しているように思えます。
ラインやSNSで繋がっているのも良いのですが、読書をし

たりして自分の核心をつくり、他人や社会に惑わされない自分をつくる孤独の時間を持つことが、ずっと大事に思えます。

▼議員の発言時間には、あらかじめ持ち時間が決められます。予算・決算特別委員会委員長席には、持ち時間を計る時計があり、どんどん時間が減っていく。退屈な質問やトイレに行きたくなるので早く終われとこの時計を覗んでいるのですが、しかし、この時計が人生の持ち時間を示す時計だったらどうでしょう。
どんどん時間が減っていくのが目に見えて、おちおち寝てみられない。あと一〇〇時間とかになつたら、何をやるだろうか。

枕もとの戸がそつと開けられる。盗人か暗殺者か、曲者であるかと起き上がるのかと身構えれば、そつと戸が閉まる。
何事かと思つと、起きるのが遅いので、「死んでいるのではないか」、女房が安否の確認に来たのだ。

今日とも知らず、明日とも知らず。ナマンドブ、ナマンドブ。一日一生、本年もよろしくお願

いします。